

## 1月号

平成28年1月28日 茨城県立明野高等学校 PTA広報委員会発行

一十五日、

小美玉市四季文化館

「生徒指導中央大会」が

一月 げ

生

徒

 $\mathcal{O}$ 

健

全

育

成

E

つな

る

事例

研究発表、

演奏会などを

いった。

高等学校

Р

TA連合会と

者や教員ら約四百人が参加し、

「みの~れ」で開かれた。

保護

# 生徒指導中央大会

# 生徒の健全育成の場に400人集

導部

の共催によるもので、 等学校教育研究会生徒

事

例

高 県

発表では、

県立波崎高等学校

0

篠塚典幸PTA会長が「家庭教

育とP

T A S トラブル

· スマ

トフォ の 取

用

0

止

ŋ

組

<u>ک</u> ع

題し、

S 防

N S に 関

する



篠塚PTA会長による事例発表の様子

テー う生 高校 す る意識につ 渕教諭は「交通安全教育 アンケート結果をまと グラフ化し、わかりや 道路交通法改正 根幹である、 研 説明がされた。五位 究発表では、那珂 マで発表を行った。 徒  $\mathcal{O}$  $\mathcal{O}$ 五. 自転車に 位渕智教 いて」という 自他 関 に 諭 0 す 伴 が 湊

生徒指導部長と多田

生 稔

由

員が参加した。

校長·海老原章矩涉外 江PTA会長·稲葉裕 会運営側として小田 徒指導委員長が参加。 た。

本校から

は、 磯

Ш

は

楽

ĺ

*\* \

時を過ごし

た。 との発表があった。 理解することが必要だ』 問 にはSNSをしっか は『被害に遭わないため 題を大きく取 篠塚PTA会長から り上 ŋ げ

もあり参加された方 らは、オカリナ奏者の宗  $\mathcal{O}$ とが求められている」と 生 奏を披露。トークショ 次郎氏をお迎えし、生演 能 言葉があった。午後 命 力を育成していくこ 他を思いやる態度や 尊 重 0 精神の もと カン

を理解してほし

お 4

を

持つことで一票の重

府



オカリナ奏者の宗次郎氏

話 があった。 選挙権年齢が18歳以上に

大 部

POWERPOINT で説明する西秋先生

西秋先生からは「選 田先生をお迎えした。 員 講師に筑西市選挙管 会から西秋先生と国 選挙の仕組みを理 一挙出前講座を行 挙 権 理 選 0 0

# 選挙出前講座

十八歳から選挙権

ことの重要性を学んだ。 すると共に、選挙権を持 り、 に 権が与えられることと 来年度、十八歳から 選 月 + 九日、三年生を対

1月8日,新生徒会本部役員の"認証式"があり、 吉野貴仁君を会長とする執行部が発足した。吉野会 長は「少人数の学校だからこそ、一人一人が協力し 合うことが大切。自分が中心となってより良い学校 にしたい」と話した。生徒会選挙は12月1日に行 われ、以下の6名が選ばれた。

会長: 吉野貴仁 (2-3) 副会長: 金子幸夫 (2-3) 副会長: 武村由伸(1-3) 会計監査: 篠﨑祐輔(2-1)

会計:岸川未斗紀(1-3)会計:渡邊愛莉(1-3)



前列左から金子君、吉野君、篠﨑君 後列左から岸川さん、渡邊さん、武村君



職場体験報告をする石島君

え仕 忍 事生 た。た。 耐 力 9 達 11 は 想像 き 力 剣 将 たし、 来  $\mathcal{O}$ 

った教体 方近ののた 育 館にて、 の隣 生 経 報 前の 徒 験ン年 告 タ生が 小 がを 会 中 体 が 日に 九 験 行 校 月 談 IJ 本校 わ 年  $\mathcal{O}$ ア 披 先 生 れ

筑波大学教授 藤田晃之先生

がし普に耐が授のタいをサースのはまる。 とてい を将来にて っ段付け がのの かのかの 大切である」と 後 1 £ た  $\mathcal{O}$ に話された。  $\mathcal{O}$ 藤は ン 話 りず を行 を行 を行 田 筑波大 活かした。 は 晃 この仕 ツ  $\otimes$ 力い之 るころ活 プ 学 を 先 報 事 とだと 身忍生教告 ンた

### 2月の行事予定

2/ 3(水)スクールカウンセラー来校日

2/ 5(金) 進路ガイダンス(2年)

2/11(木)建国記念の日

2/12(金)~16(火)

学年末考査(1,2年)

2/16(火)第1回追認考査(3年)

2/18(木)第2回追認考査(3年) スクールカウンセラー来校日

2/24(水)3年生登校日

2/29(月)卒業式予行 同窓会入会式(3年)

3/ 1(火)卒業式

# 人に役立つ幸せ

新しい年が始まり今年はどんな年になるの かと考えたりしますが、昨年を振り返ると鬼怒 川の大水害が思い出されます。

避難をされた方々は、大変な思いをされたと 思います。復旧には民間の方々、若者のボラン ティアも多く参加していたようです。学校でも 啓明祭での募金、売上の一部を寄付し、色々な ボランティア活動に取り組んでいます。子供達 には、学校で活動したことを大人になっても出 来る事を続けて欲しいと思います。

ボランティアの人の笑顔を見ると、人の幸せは 誰かの為に役立つことにあり、だから幸せを頂 くのだと思います。

(筑西・桜川支部 堀和巳さん)